

2020年11月18日
パナソニック株式会社
Equinor
Hydro

**パナソニックとノルウェー企業のエクイノール、ハイドロは、
欧州における電池事業の可能性評価のための覚書に署名**

パナソニック株式会社(以下、パナソニック)と、ノルウェー企業のエクイノール(Equinor)、ハイドロ(Hydro)は、欧州電池市場における持続可能でコスト競争力のある事業展開の実現可能性を評価するための戦略的なパートナーシップに関する覚書(MoU)に署名しました。

3社は、2021年夏に向けて、欧州のリチウムイオン電池市場を合同で調査し、ノルウェーにおける環境に優しい電池事業のビジネスモデルを成熟させます。3社は、パナソニックの先端技術を活用する考えで、欧州市場で電気自動車向けやその他用途の市場を対象に調査を行う予定です。また、サプライチェーンのパートナーや電池のバリューチェーンに関して、総合的に分析も行う予定です。この初期の調査結果に基づいて、今後の決定を行います。

パナソニックは、欧州でリチウムイオン電池事業を拡大する方針であり、今回の提携が欧州における将来の発展と成長の基盤になると考えています。パナソニック 代表取締役 副社長執行役員の佐藤基嗣は、「革新的なテクノロジー企業でリチウムイオン電池のリーディングカンパニーであるパナソニックと、強力なグローバル企業であり豊富な事業経験を有するエクイノールとハイドロとのパートナーシップは、ノルウェーにおいて、強固で持続可能な電池事業への道をひらく可能性を秘めています。パナソニックは自動車産業において、過去2つの大変革を牽引してきました。1つ目はハイブリッド車向け、2つ目は複数の世代の電動車向けの動力の供給です。我々は、この取り組みに参加し、高度で持続可能な技術の提供とサプライチェーンの構築を行うことにより、リチウムイオン電池のお客様のニーズにお応えし、欧州地域における再生可能エネルギーの取り組みを支えることができることを大変嬉しく思っております。」と述べています。

エクイノール グローバル戦略および事業開発担当 エグゼクティブ・バイスプレジデントのアル・クック(Al Cook)氏は、「当社は、エネルギー転換のリーダーを目指しています。この世界で一流の電池のパートナーシップは、エクイノールの幅広いエネルギー会社になるという狙いを体現しています。我々は、ネット・ゼロ・エミッションのエネルギーシステムを構築する上で、蓄電池は、ますます重要な役割を果たすと信じています。様々なエネルギー分

野での経験をもとに、我々は、収益性が高く、拡張性があり、持続可能な電池事業の創出を目指しています。」と述べています。

ハイドロ エネルギー・企業開発担当 エグゼクティブ・バイスプレジデントのアーヴィッド・モス (Arvid Moss) 氏は、「我々は、世界で一番の課題である気候変動に対して、バッテリー製造が急速に成長することを期待しています。ハイドロの再生可能エネルギーと加工産業の融合は、バッテリー業界での可能性を検討するパートナーシップの強固な基礎となっています。ノルウェーは、ヨーロッパ市場に地理的に近く、再生可能エネルギーのベースがあり、強い足がかりがあります。パナソニック、エクイノール、ハイドロが総合力を発揮することは、ノルウェーにおける収益性の高い持続可能な電池事業を検討するための魅力的なスタートポイントになる可能性を秘めています。」と述べています。

欧州が2050年までにネット・ゼロ・エミッション(実質排出量ゼロ)へ移行するためには、電化が不可欠です。特に電化への需要が急速に高まっている交通の分野では、電池が重要な役割を果たすと思われています。

最初に、3社は、欧州の自動車産業および非自動車産業の潜在的な顧客に直接アプローチし、ノルウェーやEUの関係当局と競争力の確保のために会話を開始します。この初期の調査結果は、2021年半ば頃に出ることになっています。

【エクイノールについて】

エクイノールは、幅広い分野のエネルギーを扱う長い歴史を持つ企業です。社員数は2万1000人、世界30か国以上で石油、ガス、風力、太陽光エネルギーの開発事業を行っています。ノルウェー最大のオペレーターであるエクイノールは、国際的なオフショアオペレーターでもあり、再生可能エネルギー分野においても成長を続けています。安全、平等、持続可能性を基本理念として、エネルギーの未来を形作るため努力を重ねています。

【ハイドロについて】

ノルウェーに本拠を置き、再生可能エネルギー、テクノロジー、イノベーションに関して100年以上の経験を有するハイドロは、革新的なアルミニウムソリューションにより持続可能な未来を形成することで、顧客や地域社会の持続可能性を高めようと努めています。ハイドロの目的は、天然資源を革新的かつ効率的な方法で製品やソリューションに発展させることで、より持続性の高い社会を創りあげることです。

以上